

# ◇ 令和6年度指定管理者事業評価書

施設名	草津市立市民総合交流センター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	72,382,000円		70,038,120円	適正に処理	多様な市民活動の展開を支援し、それらの活動の連携および市民交流を促進する。
施設HPアドレス	<a href="https://kirarie-kusatsu.com">https://kirarie-kusatsu.com</a>		2年目	72,382,000円				
指定管理者名	キラリエ草津運営共同事業体		3年目	72,382,000円				
指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		5年目					

●総合評価の基準			○その他の項目	
5	☆☆☆☆	☆の総合点数に対する評価点の合計の割合が90%以上	公募・非公募の別	公募
4	☆☆☆	☆の総合点数に対する評価点の合計の割合が70%～89%	使用料・利用料金制の別	使用料
3	☆☆	☆の総合点数に対する評価点の合計の割合が50%～69%	指定管理者による運営開始日	令和6年4月1日
2	☆	☆の総合点数に対する評価点の合計の割合が30%～49%	施設の供用開始日	令和3年5月6日
1		☆の総合点数に対する評価点の合計の割合が29%以下	指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
2期目の指定管理となり、第1期で培ってきた経験を活かして、利用者へよりよいサービスの提供を心掛ける。具体的には、これまでの会議室稼働率の高水準維持と駐車場の満車時対応に加え、2期目から加わった指定事業(イベントの実施、キラリエサポーター管理運営、入居者会議の運営、共有スペースの効果的な運用、情報発信等)を実施運営することで、入居者全体で本施設を最大限に活用し、利用者に喜んでもらえるような施設とする。		貸会議室の稼働率は、昨年度と比較して63%から62.9%に0.1%減少したものの、確定申告会場として一定期間終日稼働していた大会議室の利用が、1階の多目的ルームへ変更となったことを踏まえると、全体的な貸館利用は高水準で維持できていた。今後も引き続き、利用者アンケートを基に利用者のニーズを把握し、入居者同士連携しながら、適切な施設運営を行っていただきたい。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
2期目として業務が追加となったのを受けて、各構成員が協力、分担して業務を実施できた。第1期で培ってきた経験を活かして、利用者へよりよいサービスの提供ができた。具体的には、これまでの会議室稼働率の高水準が維持でき、駐車場の満車時対応も市と調整しながら、1台でも多く停められるような対策を講じた。指定事業(イベントの実施、キラリエサポーター管理運営、入居者会議の運営、共有スペースの効果的な運用、情報発信等)も参加者には満足いただき、入所者・利用者の意見をくみ取り、利用しやすい環境を整え、賑わいと交流の場を作ることができた。提案書記載のマーターポート(Webから各会議室の様子を閲覧できるシステム)は、会議室空き日程の確保に時間を要したため今年度内の公開は間に合わなかったが、次年度早い時期での公開予定で作業を進めている。		(公募・非公募) 1期目の選定時は公募としたことにより、2者による提案からより優れた事業者を選定することができた。民間事業者の多様なアイデアによる運営を期待し、令和6年度からの2期目においても公募により選定することとした。 (使用料・利用料金制) 令和5年度の貸会議室の稼働率は63%であった。令和5年度中にコロナの感染も一定収束したが、令和3年度はコロナ禍による閉館期間もあり、安定した実績を得ることができなかったため、令和6年度からの2期目については、引き続き使用料制とする。利用料金制の導入については、令和9年度からの3期目の指定管理の見直しの際に合わせて検討していく。	

◇施設に係る主な指定管理業務
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営および維持管理に関すること。</li> <li>草津市立市民総合交流センター条例第1条および草津市立市民総合交流センター自転車自動車駐車場条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。</li> <li>施設および設備の維持管理に関すること。</li> </ul>

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

※必要に応じて評価項目欄を追加してください。

施設の運営および維持管理に関する業務（仕様書P4～7,10,15）				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	上半期稼働率は59%であり、昨年同時期と比べて同比率であった。キラリエサポーターが21%、市・中間支援組織が14%、一般団体が65%を占める。新たな利用者登録が約380件あり、今後も新規施設見学者への丁寧な対応を継続する。	上半期評価	貸館稼働率については昨年度と同割合を維持されており、利用者数については増加している。
	☆☆☆		☆☆☆	貸館業務における使用料徴収については、定められた日程の中で臨機応変に事務を行っていた。駐車場の満車対策については、草津駅地下駐車場の利用率がまだ低いため、今後も継続して大人数利用の電話予約やHP等で利用促進に努めていきたい。
	下半期評価	貸会議室年間平均稼働率62.9%、今年度予約システム新規登録者数720件。新規登録申込者には直接連絡して施設利用に係る説明をした。駐車場満車対策としては駅地下駐車場への積極的な誘導を行うとともに、更なる改善策を市と継続協議中である。	下半期評価	貸館稼働率については、昨年度と同様に高水準を維持されており、予約システムの新規登録者数も増加している。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	駐車場の満車対策については、昨年度よりも草津駅前地下駐車場の利用は増えたが、利用率は低いいため今後も積極的に利用していただけるよう周知徹底されたい。

施設および設備の維持管理に関する業務（仕様書P8～9）				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	建物設備の維持管理については管理組合と協力しながら定期的に点検した。備品については劣化の程度や利用者の要望等を考慮し、適宜購入・修繕し、会議室の利用に支障ないよう努めた。	上半期評価	施設および設備の維持管理については適切に運用されている。
	☆☆☆		☆☆☆☆	備品については、引き続き利用者アンケート等を基に利用者のニーズを把握したうえで、必要に応じ購入する等、臨機に応じた対応に努めていきたい。
	下半期評価	備品については劣化の程度や利用者の要望等を考慮し、適宜購入・修繕し、会議室の利用に支障ないよう努めた。修繕については、調理室使用後の衛生保持のため排水溝清掃を行い、また災害時対応として大型炊飯器を購入した。また、昨年購入したベンチを利用し、プロムナードを活用したイベント等に利用することでイベントの幅を広げることができた(例：コミュニティFMのサテライトスタジオを設置し公開収録)	下半期評価	備品については、利用者の要望等を考慮したうえで、適宜購入・修繕し、施設の運営に支障のないよう適切に運用されている。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	次年度に向けて、備品登録が必要なものを整理し、適切な備品の購入・修繕計画のもと運用されたい。

指定事業の実施に関すること（草津市立市民総合交流センター条例第1条および草津市立市民総合交流センター自転車自動車駐車場条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関する業務）（仕様書P7～8）				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	7月実施のキラリエマツリは市制70周年記念事業と共催で盛大に実施できた。(マルシェ・歌・ダンス・ワークショップ・講座等。歌では次年度に滋賀で開催される国スポ障スポの公式シンガーであるyokkoさんをお招きし、イメージソングの「シャイン」を参加者とともに歌い、大会の啓発にも貢献した。)	上半期評価	指定事業であるキラリエマツリでは市と共催で施設全体を活用し、多くの参加者を動員することで市民や入居者の交流の場を提供していただけた。
	☆☆☆☆	今期から始まったキラリエサポーターの登録管理は支障なく処理した。入居者会議は毎月開催し各団体の意見を汲み取り連携を図った。情報発信についてはホームページ・サイネージ等にて随時更新を行い、情報提供に努めた。	☆☆☆	また、キラリエ秋まつり、キラリエクリスマスにおいても、デジタルサイネージやHP、チラシ等を活用した有効な情報発信を期待する。
	下半期評価	10月実施のキラリエ秋まつり(子ども免許証発行・キッチンカー・ベジチェック・ワークショップ等)、12月実施のキラリエクリスマス(飾り作り・バルーンアート・グッズ販売等)は親子連れを中心に楽しんでいただき、施設の賑わいと交流を生み出すことができた。キラリエサポーターの登録管理は支障なく処理した。入居者会議では各団体の意見を汲み取り施設運営の改善に努めた。情報発信についてはホームページ・サイネージ等にて随時更新を行い情報提供に努めた。	下半期評価	キラリエ秋まつり、キラリエクリスマスは、デジタルサイネージや1階ポスタースペース、チラシ等を活用した周知を行い、施設使用者の増加に寄与していただいた。
	☆☆☆☆		☆☆☆	デジタル化が進み、紙での施設利用案内のパンフレットの配布機会は減少しているが、内容を更新しながら在庫数に応じて適宜追加作成し、利用者のニーズに応じた施設運営に取り組んでいきたい。

自主事業の実施に関すること（仕様書P9）				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	従来のヨガ・生け花・料理等の講座に加え、新たに美文字・アクセサリ・ピラティスを実施。各講座参加者から好評だった。実施にあたっては事前に市への承認を得ていないものがあつたため、今後留意する。	上半期評価	自主事業の講座数を増やすことで、市民の活発な交流の場を提供し、施設の活性化を促していただけたが、参加者が固定化し、参加者数が少ないものも見受けられるため、参加者のニーズを把握したうえで内容を見直す等して参加者数の増加に努めていきたい。
	☆☆☆☆		☆☆☆	また、提案事業のマナーポールの運用を期待する。
	下半期評価	ヨガ・ピラティス・生け花・料理・筆ペン講座等の一般市民講座に加え、まちづくり講座として、親子で英会話やマッサージ体験等を実施した。またこどもベース(小学生へのお仕事の説明・体験)を開催し、地元の企業を知ってもらい、仕事への興味関心をもってもらえた。	下半期評価	自主事業について、適切な料金設定のもと、利用者の興味関心に合わせた講座開催を行っていた。継続開催となるもので、参加者が固定化しているものについては、新規の参加者が増えるよう内容を検討していただき、引き続き事業実施を行っていただきたい。
	☆☆☆☆		☆☆☆	